

UHB北海道文化放送が「新聞」「ラジオ」と連携し 北海道SDGsプロジェクト「未来s(読み:みらいず)」を始動！

北海道文化放送株式会社(本社:北海道札幌市中央区、代表取締役社長:加藤雅規、以下「UHB」と)、株式会社北海道新聞社(本社:北海道札幌市中央区、代表取締役社長:広瀬兼三)、株式会社エフエム北海道(本社:北海道札幌市中央区、代表取締役社長:土屋敦司)は、3社で連携し北海道SDGsプロジェクト「未来s(読み:みらいず)」を始動いたします。


<3社連携の背景>

これまでUHB、北海道新聞社、エフエム北海道のグループ3社は、SDGsに関する取り組みや情報発信をそれぞれ個別に行ってきました。

2021年度は、北海道のSDGsを推進するため、「今を変えると、“未来”が変わる。」を合言葉にタグを組み、「情報源」としての役割を引き続き果たすと共に、「行動源」として具体的なアクションにも積極的に取り組みます。

<3つの施策>

まずは3つの施策を中心に3社連携施策をスタートいたします。

	◆食品ロス削減キャンペーン 賞味期限の近いもの、棚の前から購入する「まえカウ(仮)」
	◆だれ一人取り残さず子どもたちがウィンタースポーツを体験できる環境を 「さっぽろっこ スキーリサイクル2021(仮)」
	◆学生と企業で考えるSDGs 学生パートナーシップ事業 「学生×企業 マッチング事業(仮)」

“北海道らしさ”“学生・子供たちの未来”をテーマに、3つのメディアが力を合わせ、SDGsを通じて北海道の未来を描くプロジェクト「未来s」を始動します。



UHBのSDGsの取り組みに関しまして、詳しくはUHBのホームページ <https://www.uhb.jp/company/sdgs/> をご覧ください。

UHBは2021年1月、「SDGメディア・コンパクト」に署名いたしました。
https://www.uhb.jp/company/infomation/210128/info_210128.pdf?2101283